

## 「Choju」だより

株式会社エース・E&L  
代表取締役社長 津田博通



### Choju を使用する三軒両隣

今回は、CHOJU を御愛用中の皆様に CHOJU の思わぬ使用方法についてご報告いたします。8月のお盆休みに田舎の岩手県釜石市に帰省し、すでに CHOJU を購入されている3名の女性にお会いしました。この3名の女性は三軒両隣りです。石川さんというお宅に上がり皆さんと普通の家庭のテーブルをはさんでお話をしました。皆さんは普通に会話ができました。「なぜこの人たちは、CHOJU を購入したのか？」理由がわかりませんでした。しかし、購入理由を聞いてなるほどと思いました。

「普通の会話はほとんど問題ないのですが、テレビを見ているときに問題があることが分かりました」テレビを見ているときは、お三方とも「アイウエオ」の聞こえが不鮮明なのです。となり三軒両隣りで長い間生活していると、お互いの言い分は語尾が不鮮明でも理解が可能なのです。テレビの言葉は、普段聞きなれていないので、言葉が不鮮明な発音があると理解できなくなるということです。テレビの声をはっきり聴きたいため、CHOJU を購入したのです。この3名の方は軽度難聴者です。しかし、テレビのようなはっきりした声を鮮明に聞こえないと、何を言っているのか理解ができず楽しくなくなります。

この経験で分かったことは、

- 1、田舎の人は、普段から隣近所の家に入りお茶を飲みながら話ができるため、難聴ということを一瞥にできる環境があります。三軒両隣りで CHOJU を購入してくれた理由です。都会ではこのような経験はありません。お互い難聴であることを隠します。
- 2、3名のうち補聴器を2台保有している方がおりました。初め10万円台を購入しましたが聞こえず、次に19万円台を購入しました。しかしこれもテレビの声が鮮明に聞こえず、CHOJU にめぐり合えました。CHOJU を使用するとテレビの音声が鮮明に聞こえました。
- 3、CHOJU は補聴器の様にデジタル回路ではなくアナログ回路です。人間の耳はアナログの音が聞こえる様にできています。CHOJU を使用してテレビの音声を聴くと、脳の働きが活性化され次第に難聴が改善されます。デジタル回路は、音は聞こえても「アイウエオ」が不鮮明です。【CHOJU は音が聞こえる機械ではなく、声が聴こえる機械です】

以上